

特定保健指導の電子的なデータ標準様式
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）
仕様説明書
Version 3

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

目次

1. はじめに	1
1.1 目的.....	1
1.2 参考資料.....	1
2. 概要	3
2.1 本文書の位置付け.....	3
本文書と既存の仕様説明書との相違点	3
2.2 記載内容の優先度.....	4
2.3 標準フォーマットの基本的な方針.....	4
2.3.1 1保健指導1ファイル.....	4
2.3.2 本標準フォーマットが対象とする保健指導情報.....	4
2.3.3 HL7CDA規格との関係.....	4
3. 特定保健指導情報ファイル仕様	5
3.1 全体構成の概要	5
3.2 ヘッダ部.....	6
3.2.1 名前空間.....	6
3.2.2 CDA 管理情報	7
3.2.3 保健指導管理情報.....	7
3.3 ボディ部.....	13
3.3.1 保健指導報告区分と CDA セクションの関係	15
3.3.2 指導共通情報セクション	16
3.3.3 指導初回①情報セクション.....	20
3.3.4 指導初回情報セクション	26
3.3.5 指導集計情報セクション	29
3.3.6 最終評価情報セクション	35
3.3.7 指導機関情報セクション	40
4. OID 表	46

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

修正履歴

日付	版	修正内容
2008.07.10	V1.0	初版
2009.03.30	V2	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <p>本仕様書の適用範囲を追記。</p> <p><利用券情報の必須化></p> <p>本仕様変更は、利用券を発行せず特定保健指導を実施する場合、特定健康診査と特定保健指導を対応付ける情報がファイル仕様上に存在ため、どの年度の特定健康診査に基づく特定保健指導であるかが不明確となる問題点が存在する。特定保健指導の基となる特定健康診査の実施年度を明らかにするために、保険者から支払基金への実績報告時に、利用券情報を必須化し、利用券整理番号の先頭2桁で基となる特定健康診査の年度を識別できるように変更する。</p> <p>保険者が特定保健指導実施機関に特定保健指導情報ファイルに格納すべき利用券整理番号を指定することができる。また、保険者において支払基金への実績報告時に利用券整理番号の振り直しを実施することもできる。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> •3.2.3.4 受診券・利用券情報 <p><積極的支援における支援Bの任意化></p> <p>積極的支援において、支援Bの実施を任意とする。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> •3.3.4.1 セクション部仕様 <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <p>※特定保健指導情報ファイル仕様書（医療保険者への提出用）におけるV2への改訂にあわせた改訂。</p> <p>※仕様に変更はないが上記仕様書のバージョン番号をあわせるためバージョン2に番号を更新。</p>
2017.03.31	V3	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> •3.1 全体構成の内容の図に指導初回①情報セクションを追加 •仕様書中の「支援レベル」を「保健指導区分」に修正 •3.2.3 保健指導管理情報のNo3.1に報告区分コード「25」の説明を追加 •3.2.3.4 受診券・利用券情報にセット券の説明を追加 •3.2.3.4 受診券・利用券情報の表9-1のNo9.6.1に動機付け支援相当の場合「4」を設定する旨、及び初回面接を特定健診と同日に実施している場合の注釈を追加 •3.3 ボディ部の説明及び表12に指導初回①情報セクションを追加

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書中の「6ヵ月評価」を「3ヵ月評価」に修正 ・3.3.1 保健指導区分と CDA セクションの関係の表 14 に指導初回①情報および初回未完了時の欄を追加 ・仕様書中の保健指導情報（個票）項目番号を新規に振りなおした番号に修正 ・仕様書中の保健指導区分に「動機付け支援相当」「モデル実施」を追加 ・3.3.3 指導初回①情報セクションを追加 ・「3.3.6 委託先機関情報セクション」から「3.3.7 指導機関情報セクション」に変更 <p>また、支援 A および支援 B のみでなく初回面接、中間評価、実績評価においても指導機関情報を出力し、保険者直営実施の場合においても必ず情報が出現する旨を追記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導機関情報の出力項目に実施内容を追加。保健指導機関番号および保健指導機関名から「委託先」の文言を削除。 <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「2」から「3」に修正 ・仕様書の適用範囲を平成 30 年 4 月 1 日以降に実施される特定健康診査に基づく特定保健指導に修正 ・章構成を変更（最終評価情報セクションを 3.3.6 章、指導機関情報セクション 3.3.7 章に変更） ・その他既存誤記及び見栄え修正
--	---

本仕様書の適用範囲

本仕様書（Version3）は、平成 30 年度 4 月 1 日以降に実施される特定健康診査に基づいて実施される特定保健指導の、特定保健指導情報ファイルに対して適用される。（平成 29 年度の特定健康診査に基づく特定保健指導を、平成 29 年 4 月 1 日以降に実施したとしても、本仕様書（Version3）は適用されない。）

特定保健指導	平成 25 年 4 月 1 日 以降に実施	平成 30 年 4 月 1 日 以降に実施
特定保健指導の 実施の基となる特定健康診査	Version2	Version2
平成 25 年 4 月 1 日以降に実施	Version2	Version2
平成 30 年 4 月 1 日以降に実施	Version2	Version3

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用） 仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本文書の目的は、「保険者が社会保険診療報酬支払基金に提出する特定健康診査等の実施状況に関する結果について」（平成20年7月10日厚生労働省保険局長通知）において報告対象とされている「提出対象となる特定健診・特定保健指導情報ファイル」のうち「特定保健指導の実施状況に関する結果」について、その電子的な記述仕様を説明するものである。

保険者は、本仕様に準拠したデータを作成し、報告を行わねばならない。

1.2 参考資料

下記の表は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

表1 参考資料

本文書での仕様等の引用名称	バージョン	説明
厚生労働省特定健診プログラム改定版	※	標準的な健診・保健指導プログラム
厚生労働省特定健診プログラム手引書	※	「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
健診実績報告仕様書	2	本文書と対になる文書で、特定健診情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様について解説した文書。
XML用保健指導項目コード表		保健指導報告に関する「XML用保健指導項目コード表」
HL7 Version 3	Normative 2005	HL7 Version 3 の 2005 年度 規範版パッケージ。CDA Release 2.0 の規格書が含まれる。
日本 HL7 協会診療情報提供書	1.0	日本 HL7 協会が策定した、CDA R2 規格をベースとした診療情報提供書の規格。 http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf
HL7 CRS	final draft	米国 HL7 協会が策定中の診療文書に関する実装ガイド。Implementation Guide for CDA Release 2 – Level 1 and 2 – Care Record Summary (US realm), HL7, Inc., Final Text, June 8, 2006
XML	1.1	Extensible Markup Language http://www.w3.org/TR/2006/REC-xml11-20060816/
XPath	1.0	http://www.w3.org/TR/xpath
電子レセプト仕様書		「電子レセプトの作成手引き（医科）」社会保険診療報酬支払基金レセプト電算処理システム電子レセプト作成手引き http://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/rezept/iryokikan/iryokikan_02.files/j

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

	iki_i01.pdf
--	-------------

※厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」

(<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

2. 概要

2.1 本文書の位置付け

本文書は、「保険者が社会保険診療報酬支払基金に提出する特定健康診査等の実施状況に関する結果について」（平成20年7月10日厚生労働省保険局長通知、以下では単に「本通知」と記載する）において報告対象とされている「提出対象となる特定健診・特定保健指導情報ファイル」のうち「特定保健指導の実施状況に関する結果」について、電子的なデータ標準様式（以下では特定保健指導標準フォーマット、または単に標準フォーマットと記載する）を定義するものである。

本文書で定義される特定保健指導情報の仕様は、「特定健診情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書」（以下、「健診実績報告仕様書」と記載する）の文書で定義される健診標準フォーマットの基本的な考え方と共通部分の仕様は同一であり、そちらの文書を参照する形で説明されており、本文書では保健指導に固有の部分についてのみ説明している。従って、本文書を読むに先立って必ず「健診実績報告仕様書」を読む必要がある。

本文書と既存の仕様説明書との相違点

本文書で説明される標準フォーマットは、すでに公表されている健診機関から保険者に特定健診の結果情報を報告するための仕様（「電磁的方法により作成された特定健康診査及び特定保健指導に関する記録の取扱いについて」（平成20年3月28日厚生労働省健康局長・厚生労働省保険局長通知（健発第0328024号・保発第0328003号））とともに公表されている「特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式の仕様に関する資料」のうち、「特定保健指導情報ファイル仕様」（以下では「保険者への保健指導情報ファイル仕様説明書」と記載する）と基本的には同一である。

仕様上の異なる部分は、本通知では提出不要となった特定保健指導情報項目についてその仕様の削除、および報告項目が異なるための仕様変更である。仕様の削除の中には、これまで必須または任意に存在してよいとされていた情報が、存在してはいけない情報となった場合が含まれることに注意が必要である。

また本文書として「保険者への保健指導情報ファイル仕様説明書」と異なる部分は、1) 上記の仕様上の異なる部分を反映させている点、2) 実績報告としての位置づけから明らかに説明が不要となる部分の削除、3) 実績報告として必要となった情報に対応する仕様変更の3点である。なお、1) に関する削除箇所にはそれがわかるように当該箇所での注釈等を記載している場合がある。

なお、本文書に対応するXMLスキーマファイルは、「保険者への保健指導情報ファイル仕様説明書」とともに公開されているXMLスキーマファイルと完全に同一であるため重複して公表をせず、後者を参照するものとする。提出不要となった特定保健指導情報項目を本仕様で削除したにもかかわらず、対応するXMLスキーマファイルに変更の必要がない理由は、これらの削除項目に対応する要素または属性はあらかじめ省略可能と定義されていたからである。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

2.2 記載内容の優先度

この文書の記載内容と前項の厚生労働省通知との記述に相違がある場合には、前項の厚生労働省通知の記述を優先するものとする。

本文書と対をなして公表されている XML スキーマファイルでは、XML 要素や属性の出現多重度や選択性について、本文書での記載よりも緩い記述（制約条件が広い記述）になっていることがある。このような場合には、本文書に記載されている記述が優先するものとする。たとえば XML スキーマでは 1 回以上何度出現してもよいとなっている要素について、本文書では 1 回だけ必ず出現するものと記載しているケースでは、本文書に従うものとし、当該要素は 1 回だけ必ず出現しなければならない。同様にたとえば XML スキーマでは出現してもしなくても良い（出現がオプション）とされている属性や要素について、本文書では出現してもよいことが明示的に記載されていないケースでは、本文書に従うものとし、当該属性や当該要素は出現してはならない。

2.3 標準フォーマットの基本的な方針

2.3.1 1 保健指導 1 ファイル

本標準フォーマットは、1 人の保健指導利用者（以下、利用者）に対してなされた一連の保健指導の実施情報を、報告が義務付けられた報告単位（1 報告）ごとに 1 つの XML 形式で格納し、1 個の電子ファイル（Windows や UNIX などのコンピュータオペレーティングシステムでひとつの電子ファイルとして扱われるファイル単位）とするものである。1 報告にとって必要となるヘッダー情報（保健指導機関に関する情報や日付、利用者を識別するための情報など）が含まれている。

1 人の利用者の 1 報告ごとに 1 電子ファイルとし、複数報告もしくは複数利用者の実施情報はその数だけの電子ファイルを別々に生成する方針をとっている。従って、1 電子ファイルに、複数報告もしくは複数利用者の実施情報を格納することはできない。

2.3.2 本標準フォーマットが対象とする保健指導情報

本標準フォーマットは、「保険者が社会保険診療報酬支払基金に提出する特定健康診査等の実施状況に関する結果について」（平成 20 年 7 月 10 日厚生労働省保険局長通知、以下では単に「本通知」と記載する）において報告対象とされている「提出対象となる特定健診・特定保健指導情報ファイル」のうち「特定保健指導の実施状況に関する結果」を格納することを目的としている。

2.3.3 HL7 CDA 規格との関係

本標準フォーマットは、HL7 CDA Release 2（以下 CDA R2）規格¹に完全準拠するものとし、本標準フォーマット仕様は、HL7 CDA 規格で定義される XML スキーマに対して特定保健指導固有のさらなる制約を課すことで実現されている。

本仕様書では、XML タグ仕様は、健診仕様書と同一の方法で説明している。

¹ ANSI/HL7 CDA R2-2005 4/21/2005 版

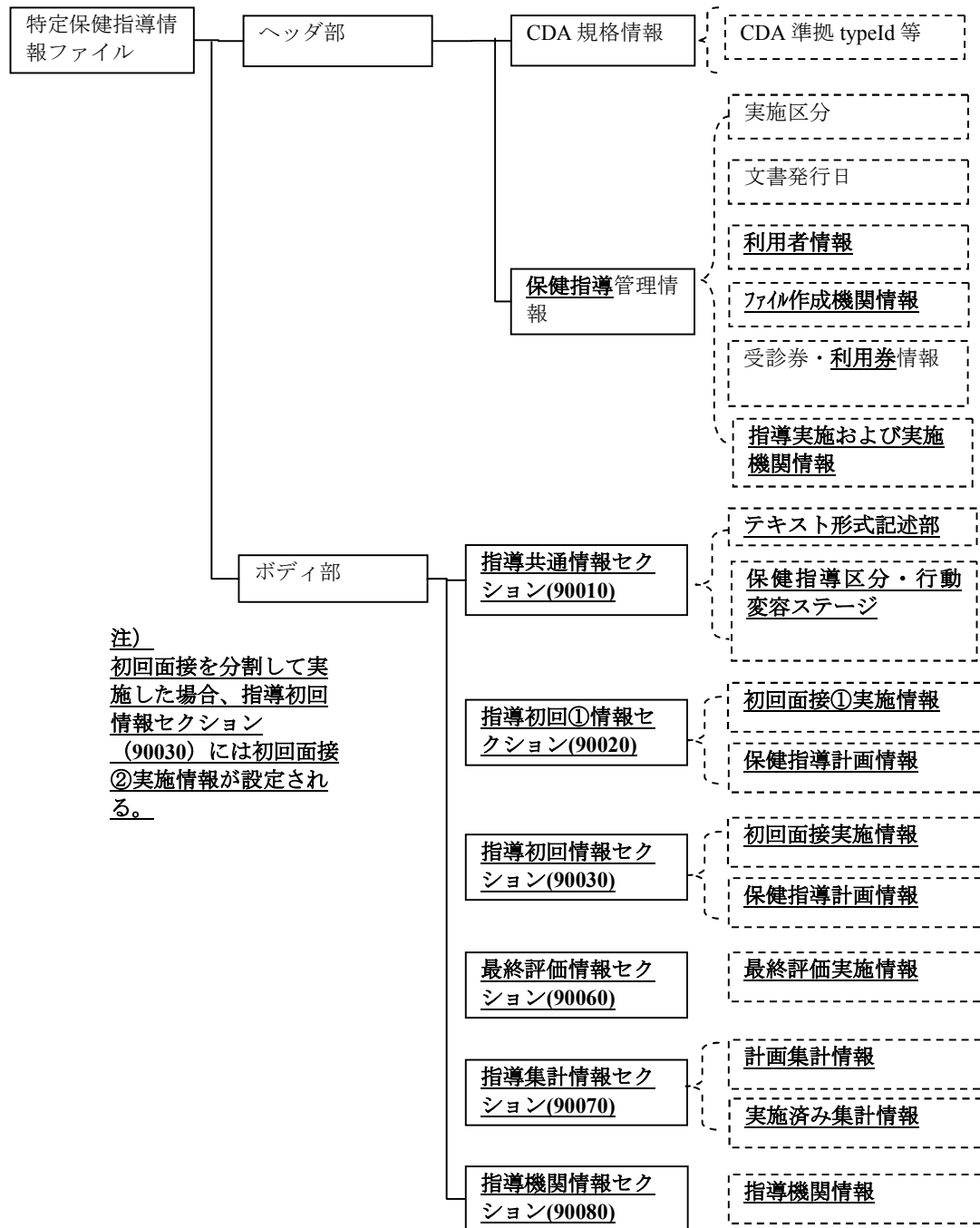
特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3. 特定保健指導情報ファイル仕様

※図表中で「健診実績報告仕様書」との相違の主要部分は太字下線で示している。

3.1 全体構成の概要

本標準フォーマットにもとづく XML ファイルは、ヘッダ部とボディ部からなる（下図）。



特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

ヘッダ部には、CDA 規格上必要となるメッセージ種別など CDA 規格情報、記録されているイベント（健診、指導など）に関する実施区分や文書発行日（特定保健指導情報ファイルの作成日）情報、作成者情報、記録対象者（利用者）情報、**利用券情報**などの保健指導管理情報から構成される。

ボディ部には、**指導計画や指導実施に関する情報**が、一部は人間可読なテキスト形式で記述されるとともに、コンピュータ処理を可能とするための形式で構造化されて記述される。

3.2 ヘッダ部

3.2.1 名前空間

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の部分を除き同一である。

当該部分を、健診実績報告仕様書と異なる部分に下線を引いて、以下に引用する。

==引用開始==

本仕様書で定義される XML インスタンスの名前空間は「urn:hl7-org:v3」とし、これをデフォルト名前空間として指定する。

また、本仕様書で定義される XML インスタンスでは、「http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。

本仕様のスキーマファイルは「hg08_V08.xsd」というファイル名のファイルにより別途提供される。ここでこのファイル名中の V08 は version 番号であり、今後スキーマファイルに大きな変更が加わる場合にはそれに伴って変更される可能性がある。下記は XML インスタンスの実例であり、本仕様に基づくすべての XML インスタンスは、スキーマファイル名の version 番号部分を除きこの部分を変更してはならない。

補足説明 1：本仕様でファイルを生成する側は、文字コードは UTF-8 を使用するものとする。

補足説明 2：UTF-8 文字コードのファイルをコンピュータプログラムにより生成する場合に、ファイルの冒頭の（通常のテキスト表示では見えない最初の）3 バイトに Byte Order Mark

（BOM）と呼ばれる 3 バイト EF BB BF (16 進)をつけるスタイルと、つけないスタイルの両方が世の中に存在する。本仕様でファイルを生成する側は、この BOM と呼ばれる 3 バイトを付与しないものとする。ソフトウェア開発者は、自分の使用する XML ファイル生成機能が自動的に BOM を付与するソフトかどうかを調べ、自動付与するスタイルのソフトウェアの場合には、生成されたファイルの第 1 バイト目からの先頭 3 バイトを削除することが必要である。どちらのソフトウェアであるかを調査するためには、テキスト表示ソフトでは通常表示されないの、冒頭の数バイトをプログラムで確認するなりして確認することが必要である。

一方、本仕様で生成されたファイルを受信する側では、生成側が誤って BOM を付けたファイルを生じている可能性を想定し、BOM の有無にかかわらず正しく処理できるようにすることが必要である。

補足説明 3：スキーマファイル名の version 番号部分は V08 で統一する。下記の例で示すように、hg08_V08.xsdとするものとする。今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名を下図のようにバージョン番号部分を V08 に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

なお、オペレーティングシステムによる違いの影響を排除するため、スキーマファイル名、その相対パス名の英大文字小文字の違いを意識するものとし、以下の通りとする。

スキーマファイル名を含む相対パス名： ../XSD/hg08_V08.xsd

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

注：ピリオド 2 個で始まっていることから分かるように、スキーマファイルが格納されるフォルダ XSD は、本 XML ファイルが格納されるフォルダ（ディレクトリ）の兄弟フォルダである。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hg08_V08.xsd">
  ...
</ClinicalDocument>
```

==引用終了==

3.2.2 CDA 管理情報

健診実績報告仕様書の当該部分と同一である。

3.2.3 保健指導管理情報

CDA 管理情報の 2 つの要素につづく要素は、保健指導管理情報であり、表 2 に示される項目からなる。

表 2 ヘッダ部の保健指導管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
3	code	報告区分を表すコードを設定。		1..1	M
3.1	@code	<u>10の桁は実施区分、1の桁は実施時点の各コードである。すなわち</u> <u>22:すべて完了して国に保健指導実績を報告する場合</u> <u>23:特定保健指導途中終了確定時に国に保健指導実績を報告する場合</u>	10の桁は実施区分、1の桁は実施時点の各コード	1..1	M
3.2	@codeSystem	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 コードのコード体系を識別する OID。 「1.2.392.200119.6.1001」を設定。		1..1	M
3.3	@displayName	使用しない		0..1	O
4	effectiveTime	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイルのオフィシャルなファイル作成日（実際のファイル作成日と異なることもあり）。この日付をもって本データを提出したこととして取り扱う日。		1..1	M
4.1	@value	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 「YYYYMMDD」。		1..1	M
5	confidentialityCode	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 守秘レベルコード。HL7 ポキャブラリドメイン Confidentiality の値を使用。		1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

5.1	@code	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 守秘レベルコードのニーモニック。通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。	1..1	M
5.2	@codeSystem	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 XML ファイルサイズを小さくするため当面使用しない。 使用するには守秘レベルコードのコード体系を識別するOID。「2.16.840.1.113883.5.25」固定。	0..1	O
6	recordTarget	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 利用者情報 。構造を含め詳細は、3.2.3.1節に記載。	1..1	M
7	author	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイルを作成し提出する保険者側の情報（通常は送付元に相当する。構造を含め詳細は、3.2.3.2節に記載。	1..1	M
8	custodian	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイル作成管理責任機関情報。本仕様では使用しないが HL7CDA 規格上必須であるため、0節のように記述するものとする。	1..1	M
9	participant	利用者の受診券と利用券 に関する情報。詳細は、3.2.3.4節に記載。	0..2	O
10	documentationOf	保健指導実施情報 。詳細は、3.2.3.5節に記載。	1..1	M

ヘッダ部のサンプルは省略する。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.2.3.1 利用者情報

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「受診者」を「利用者」に読み替える。

3.2.3.2 ファイル作成機関の情報

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「健診」を「保健指導」に読み替える。

3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報

健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。

3.2.3.4 受診券・利用券情報

利用券整理番号と受診券整理番号の情報が記述される。そのため、/ClinicalDocument/participant 要素が最大 2 回繰り返される。

受診券情報か利用券情報かの区別は、/ClinicalDocument/participant/functionCode/@code で識別される。要素の出現順序ではない。受診券整理番号を空欄としたい場合にはそれを記述するための本要素

/ClinicalDocument/participant は出現しない。

利用券整理番号は、利用券を発券しないで特定保健指導を実施した場合にも、以下のとおり記載する。したがって/ClinicalDocument /participant 要素の出現は、利用券整理番号だけ記述する場合には出現回数は 1 となる。

平成 30 年度以降、特定健診当日に特定保健指導の初回面接を実施できるセット券（特定健康診査＋特定保健指導）の場合、受診券の種別番号には「5」が設定される。

また、特定健診当日に初回面接を実施した場合、利用券情報の利用券整理番号には、受診券の整理番号（種別番号「5」）を設定するため、注意する。

表 8 受診券情報へのマッピング項目

No	項目名	XML 仕様 No	XPath
	受診券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="1"] /associatedEntity/ id/@extension
	利用券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="2"] /associatedEntity/ id/@extension

利用券情報の XML 仕様は、健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一であるが再掲する。

- ・「/ClinicalDocument/participant」を「/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="1"]」とする。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

表 9 受診券情報の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	participant[functionCode/@code="1"]		0..1	O
9.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	受診券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	受診券券面種別コードを示す「1」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	受診券・利用券の券面種別コードのための OID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	受診券の有効期間 要素が出現しない	0	X
9.5	associatedEntity	受診券と発行者の識別情報。	1..1	M
9.5.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	受診券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	「 受診券整理番号 」に対応する文字列。数字 11 桁固定。	1..1	M
9.6.2	@root	本来は受診券整理番号のための OID を設定する属性であるが、本仕様では省略する（属性を出現させない）。 保健指導機関情報から受領するファイルには OID が設定されており、そのOIDには受診券を発行した保険者番号が含まれているため、OIDを削除することが必要である。 属性が出現しない	0	X
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	受診券を発行した保険者の保険者情報 要素が出現しない	0	X

利用券情報の XML 仕様は、表 9 の受診券情報と以下の点を除き同一であるが再掲する。

- ・「受診券」を「利用券」に読み替える（下記表 9-1 では置き換え済み）。
- ・「券面種別コード」が 1 ではなく 2 となる。
- ・「健診」を「保健指導」に読み替える（下記表 9-1 では置き換え済み）。
- ・「/ClinicalDocument/ participant[functionCode/@code="1"]」を
「/ClinicalDocument/ participant[functionCode/@code="2"]」とする。

表 9-1 利用券情報の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	participant[functionCode/@code="2"]	利用券整理番号は、利用券を発券しないで特定保健指導を実施した場合にも必ず出現させること	1..1	M
9.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	利用券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	利用券券面種別コードを示す「2」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	受診券・利用券の券面種別コードのための OID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	利用券の有効期間 要素が出現しない	0	X
9.5	associatedEntity	利用券と発行者の識別情報。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

9.5.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	利用券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	<p>「<u>利用券整理番号</u>」に対応する文字列。数字 11 桁固定。</p> <p>年度(西暦下 2 桁*1)+種別(1 桁*2*4)+識別番号 (8 桁*3)</p> <p>*1 特定保健指導の基になった特定健診の実施年度を記載する。</p> <p>*2 保健指導に利用券を交付している場合で、積極的支援の場合は「2」、動機づけ支援の場合は「3」、動機付け支援相当の場合は「4」を記載する。また、特定健診当日に特定保健指導の初回面接を実施した場合、受診券の整理番号（種別番号「5」）を記載する。</p> <p>*3 保健指導に利用券を交付していない場合は、8 桁を全て「0」として記載する。</p> <p>*4 保健指導に利用券を交付していない場合で、積極的支援の場合は「2」、動機づけ支援の場合は「3」、「動機付け支援相当」の場合は「4」、モデル実施の場合は「6」を記載する。</p>	1..1	M
9.6.2	@root	<p>本来は利用券整理番号のための OID を設定する属性であるが、本仕様では省略する。</p> <p><u>属性が出現しない</u></p> <p>保健指導機関情報から受領するファイルには <u>OID が設定されており、そのOIDには利用券を発行した保険者番号が含まれているため、OIDを削除することが必要である。</u></p>	0	X
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	<p>利用券を発行した保険者の保険者情報</p> <p><u>要素が出現しない</u></p>	0	X

受診券と利用券情報の XML サンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

```

<ClinicalDocument>
...
<participant typeCode="HLD">
<functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
  <associatedEntity classCode="IDENT">
<!-- 受診券整理番号 -->
<id extension="11123344551" />
  </associatedEntity>
</participant>

<participant typeCode="HLD">
<functionCode code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
  <associatedEntity classCode="IDENT">
<!-- 利用券整理番号 -->
<id extension="11323344552" />
  </associatedEntity>
</participant>
...
</ClinicalDocument>

```

3.2.3.5 保健指導実施情報

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「健診」を「保健指導」に読み替える。
- ・「受診者」を「利用者」に読み替える。
- ・「実施日」もしくは「実施年月日」は保健指導の実施年月日として支払基金への実績報告書に記述すべき日付を厚生労働省通知に従い設定する。
- ・プログラムサービスコードとして
「/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent/code/@code」には「100」を設定する。
- ・保健指導実施機関には、行動計画の実績評価を行った実施機関の情報を記録する。
※途中終了の場合は、初回面接を行った実施機関の情報とする。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3 ボディ部

※3. 3節以降では、原則として健診実績報告仕様書とすべて異なるため、相違部分を太字または下線などの方法で示してない。

ボディ部には、特定保健指導の報告で定められた実施情報（計画情報を含む）が含まれ、指導共通情報、指導初回①情報、指導初回情報、最終評価情報、指導集計情報、指導機関情報セクションの各セクションにわけて記録する。

各セクションは、そのセクションの内容を人が解釈することを目的として構造化テキストとして記述する説明ブロック（Narrative Block）と、セクション内容を機械可読なデータとして記述するエン트리（Entry）記述ブロックから構成される。

説明ブロックは、section 要素内の text 要素に HTML に類似するタグを使って記述されるが、text 要素にすべての項目の結果を記述するとそれだけでファイルサイズが非常に大きくなること、および必要ならエン트리記述ブロック中のデータから説明ブロックデータを機械的に生成可能であること、の2つの理由により、本仕様では text 要素には指導共通情報セクションにおいてのみ限定された少数の項目だけを記述するものとし、その他のセクションでは値を持たない空 text エレメントとする。

一方、エン트리記述ブロックは、section 要素の子要素となる entry 要素の繰り返しで記述する。section 要素は、セクションの種別を示すセクションコードを表す code 要素を、子要素として含まなければならない。各セクションのセクションコードを表 12 に示す。

セクションコード体系の OID は「1.2.392.200119.6.1010」である。

表 12 保健指導データ CDA セクションの種類とコード

セクションコード	セクション名	説明
90010	指導共通情報セクション	保健指導区分・行動変容ステージ
90020	指導初回①情報セクション	初回面接①実施情報 継続的支援予定期間
90030	指導初回情報セクション	初回面接実施情報※ 継続的支援予定期間
90060	最終評価情報セクション	最終評価情報（3ヶ月評価情報）
90070	指導集計情報セクション	計画上の集計情報 実施済み集計情報
90080	指導機関情報セクション	指導機関情報

※ 初回面接を分割して実施した場合、初回面接②実施情報が設定される

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

ボディ部の XML 仕様を表 13 に示す。

表 13 ボディ部の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11	/ClinicalDocument/component		1..1	M
11.1	structuredBody	構造化ボディ。	1..1	M
11.2	structuredBody/component	セクションへの包含関係情報。3.3.1 節で認識するように 1 個以上の要素が存在する。	1..*	M
11.3	structuredBody/component/section	セクション情報。詳細は 3.3.2～3.3.7 節。	1..1	M

以下にボディ部の XML サンプルを示す。各セクションの詳細は、3.3.2 節から 3.3.7 節にそれぞれ示す。

```

<ClinicalDocument>
...
<!-- 健診情報、保健指導情報-->
<component>
  <structuredBody>
    <component>
      <section>
        <!-- 指導共通情報セクション-->
      </section>
    </component>

    <component>
      <section>
        <!-- 指導初回情報セクション -->
      </section>
    </component>

    :

  </structuredBody>
</component>
</ClinicalDocument>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.1 保健指導報告区分と CDA セクションの関係

保健指導の報告時点の違いにより下記のようなセクションが組み合わされて使用される。それと対応する報告区分等との関係は表 14 のようになる。

表 14 保健指導区分とセクションの必須関係

本表はセクションの必須か任意かを示すものであり、そのセクションに格納される個々の項目が必須か任意かについては、厚労省通知に従うこと。

使用されるセクション(セクションコード)	番号	完了 報告時 動機付け支援	完了 報告時 積極的 支援※1	途中終了確定 時 動機付け支援	途中終了確定時 積極的 支援※1
		報告区分 コード=22	報告区分 コード=22	報告区分 コード=23	報告区分 コード=23
指導共通情報 (90010)	1101~1103	必須	必須	必須	必須
指導初回①情報 (90020)	1301~1305	初回分割を行った場合は必須	初回分割を行った場合は必須	初回分割を行った場合は必須	初回分割を行った場合は必須
指導初回情報 (90030)	1301~1305	必須	必須	必須	必須
最終評価情報 (90060)	1601~1612	必須	必須	必須	必須
指導集計情報 (90070)	1701~1716	不要※3	必須※2	不要※3	必須※2
	1731~1748	不要※3	必須※2	不要※3	必須※2
指導機関 情報(90080)	1811~(1884)	必須	必須	必須	必須

※1 動機付け支援相当およびモデル実施を含む

※2 動機付け支援相当の場合は任意

※3 動機づけ支援だが、契約により継続的な支援の実施及び保険者への報告が求められている場合(積極的支援に準じた継続的支援を実施する場合は)、報告しても差し支えない(あえて情報を削除する作業を行う必要はない)。

(補足) 初回面接①後に資格喪失による利用停止・脱落等による途中終了時報告となる場合、保険者へ報告区分コード=25で報告を行うが初回未完了の扱いのため、実績報告の報告対象外となることから実績報告において報告区分コード=25は使用しない。

なお、XMLファイル内でのセクションの出現順序は任意である。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.2 指導共通情報セクション

3.3.2.1 セクション部仕様

※ 本セクションは常に存在する。

指導共通情報セクションは、保健指導区分（表 16：番号 1101、項目コード 1020000001）、行動変容ステージ（表 16：番号 1102、項目コード 1020000002）の 2 つだけを格納するセクションである。人が解釈するための説明ブロックと、各項目に対応する機械可読表現である 1 個の **entry** 要素を含む。セクションコードには CDA セクションコードのうち「**90010**」を指定する。

指導共通情報セクションの XML 仕様を表 15 に示す。

表 15 指導共通情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導共通情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「 90010 」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「 1.2.392.200119.6.1010 」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「 指導共通情報セクション 」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	セクションのテキスト記述。詳細は 3.3.2.2 節。	1..1	M
11.7	entry	指導共通情報セクションの機械可読表現。詳細は 3.3.2.3 節。	1..1	M

指導共通情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導共通情報セクション"/>
  <text>
    <!-- 指導共通情報セクション テキスト記述 (3.3.2.2 節) -->
  </text>
  <!-- 指導共通情報セクション 機械可読記述 (1 つの entry) -->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.2.2 テキスト部（説明ブロック）仕様

指導共通情報セクションの内容を人が解釈するための情報を記述する説明ブロックには、**list** 要素および **item** 要素を使用して、項目とその値を表現する。各項目に対して、1つの **item** 要素が対応する。**item** 要素のテキスト内容の書式は、

「**項目名** **値（表示用テキスト）**」（項目名と値の間の空白は半角スペース）とする。

またなんらかの理由により値を設定できない場合は、「項目名」だけとする。

ファイルサイズをコンパクトにするため、説明ブロックに記述する項目は表 16 に掲げた項目だけに限定するものとする。またこれらについても任意である。まったく記述しなくてもよいがその場合でも **text** 要素は必須である。

表 16 指導共通情報項目説明ブロック仕様

No	項目名	値（表示用テキスト）
1101	保健指導区分	「積極的支援」、「動機づけ支援」「動機付け支援相当」「モデル実施」
1102	行動変容ステージ	「意志なし」「意志あり(6か月以内)」「意志あり(近いうち)」「取組済み(6ヶ月未満)」「取組済み(6ヶ月以上)」

表 17 指導共通情報セクション説明ブロック XML 仕様

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
11.6	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/text		1..1	M
11.6.1	list	説明ブロック 項目リスト	0..1	O
11.6.2	list/item	項目	1..2	M
11.6.2.1	text()	項目名と項目内容を表すテキスト。書式は「 項目名 値（表示用テキスト） 」（項目名と値の間の空白は半角スペース）	1..1	M

text 記述する例

```
<section>
  <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
  displayName="指導共通情報セクション" />
  <text>
    <list>
      <item>保健指導区分 積極的支援</item>
      <item>行動変容ステージ 意志あり(6か月以内)</item>
    </list>
  </text>
  ...
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.2.3 エントリ部仕様

指導共通情報セクションに含まれる項目は2つであり、次の表 18 で指定される保健指導項目コード、XML用データ型、OIDの組み合わせを使用してXMLデータを作成する。

※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「保健指導コース名」（項目コード 1020000003）が付与されている場合があるので、これを削除すること。

表 18 指導共通情報セクションにおける保健指導項目コード

番号	項目名	項目コード OID= 1.2.392.200119.6.1006	XML デー タ型	CDデータ型の場合のコー ド表の OID	とりうる値など
1101	保健指導区分	1020000001	CD	1.2.392.200119.6.3001	1 から 4
1102	行動変容ステー ジ	1020000002	CD	1.2.392.200119.6.3002	1 から 5

指導共通情報セクションの XML 仕様を表 19 に示す。

表 19 指導共通情報セクションの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	act ブロックのコード	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記に引き続き、以下の entryRelationship ブロックを表 18 の 1~2 項目分だけ繰り返す。報告しない項目の entryRelationship ブロックは出現しない。

	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/act/		1..1	M
11.10	entryRelationship	保健指導実施項目の 1 項目分のブロック情報	1..2	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	entryRelationship/observation	個々の実施項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード 表 18 の項目コードを設定。	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 「1.2.392.200119.6.1006」を記述するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.12.3	@displayName	保健指導項目名。または属性自体を省略する。	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

11.13	entryRelationship/observation /value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	表 18 の XML 用データ型を設定。 コード型なので「CD」を設定	1..1	M
11.13.5	@code	報告すべき結果コード値を設定。	1..1	M
11.13.6	@codeSystem	表 18 の「CDデータ型の場合のコード表の OID」 の値を設定。	1..1	M

指導共通情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導共通情報セクショ
ン"/>
    <text>
      <list>
        <item>保健指導区分 積極的支援</item>
        <item>行動変容ステージ 意志あり(6か月以内)</item>
      </list>
    </text>
    <entry>
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 保健指導区分 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000001"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3001"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 行動変容ステージ（初回面接時） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000002"/>
            <value xsi:type="CD" code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.3002"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.3 指導初回①情報セクション

3.3.3.1 セクション部仕様

※ 平成 30 年度より指導初回①情報セクションが追加となっているため注意

指導初回①情報セクションは、初回面接を分割実施している場合のみ出現し、初回面接①実施時の情報として、表 20 の項目情報が表現される。

人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。entry 要素を含む。セクションコードには CDA セクションコードのうち「90020」を指定する。

表 20 指導初回①情報セクションで表現される保健指導項目

entry 名	番号	項目コード	項目名
初回面接 実施情報	1301	1022000011	初回面接の実施日付
	1302	1022000012	初回面接による支援の支援形態
	1303	1022000013	初回面接の実施時間
	1304	1022000015	初回面接の実施者
保健指導 計画情報	1306	1021000020	継続的支援予定期間 (積極的支援時には必須。動機付け支援相当およびモデル実施は情報を入手した場合のみ必要)

指導初回①情報セクションの XML 仕様を表 21 に示す。

表 21 指導初回①情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導初回情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90020」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導初回①情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	存在しない。	1..1	M
11.7	entry[1]	初回面接実施情報を格納する entry	1..1	M
11.7(繰り返し)	entry[2]	保健指導計画情報を格納する entry 積極的支援時には必須。	0..1	O

指導初回①情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

```

<section>
  <code code="90020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導初回①情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 初回面接実施情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 保健指導計画情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```

3.3.3.2 初回面接①実施情報エントリ仕様

指導初回①情報セクションに含まれるエントリは初回面接①実施情報エントリと保健指導計画情報エントリの2つである。
 また、保健指導計画情報エントリは省略可となり、どちらのエントリも必要のない場合には、指導初回①情報セクション自体が存在しないことになる。
 ※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「初回面接情報」（項目コード 1022000090）が付与されている場合があるので、これを削除すること。

初回面接①実施情報エントリのXML仕様を表22に示す。

表22 初回面接①実施情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	初回面接の支援形態	1..1	M
11.9.1	@code	初回面接の支援形態（項目番号 1302）のコード値の中から「1:個別支援」「2:グループ支援」「5:遠隔面接」のいずれかを設定。 なお、初回面接を分割実施している場合の初回面接②に限り、「3:電話」及び「4:電子メール」も設定可能。	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	初回面接時の支援形態のOID 1.2.392.200119.6.18140	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	実施日付情報	1..1	M
11.14.1	@value	初回面接の実施日（項目番号 1301）の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	初回面接を実施した人に関する情報	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

11.16	act/performer/assignedEntity	初回面接を実施した者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」でないことに注意。	1..1	M
11.16.2	code/@code	実施者（項目番号 1304）のコード（医師＝1など）	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	実施者コードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の 1 項目分のブロック情報	1..1	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コードを設定する。 ここでは、初回面接実施時間の項目コード「1022000013」を設定。	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コードOID。 デフォルト値＝1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.17	act/entryRelationship/observation/effectiveTime	保健指導の実施時刻および時間に関する情報	1..1	M
11.18	act/entryRelationship/observation/effectiveTime/width	保健指導の実施時間に関する情報	1..1	M
11.18.1	@value	保健指導の実施時間（長さ）	1..1	M
11.18.2	@unit	上記の時間の単位。分の場合には「min」を設定する。	1..1	M

以上の仕様にもとづき、初回面接①実施情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

```

<component>
  <section>
    <code code="90020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回①情報セク
シヨン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接①実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!-- 初回面接の支援形態:1=個別支援(項目コード:1022000012) -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.18140"/>
        <!-- 初回面接の実施日付(項目コード:1022000011) -->
        <effectiveTime value="20070720"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!-- 初回面接の実施者のコード:1=医師(項目コード:1022000015) -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 初回面接の実施時間(項目コード:1022000013) -->
            <code code="1022000013"/>
            <effectiveTime>
              <width value="30" unit="min"/>
            </effectiveTime>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  :
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.3.3 保健指導計画情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリの2つめは保健指導計画情報エントリである。指導初回①情報セクションにおいて、本エントリは任意である。

保健指導計画情報エントリのXML仕様を表23に示す（行Noは再掲）。

表 23 保健指導計画情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		0..1	O
11.8	act	保健指導計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、計画を示す「INT」を設定。本エントリが計画情報であるという理由による。	1..1	M
11.9	act/code	保健指導計画のアクトブロック	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記について、保健指導計画に関する項目（表20：番号1306）の1項目について下記の表23-1（行Noは再掲）のact/entryRelationshipにより記述する。

表 23-1 保健指導計画情報エントリのXML仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	1..1	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、計画を示す「INT」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	XML用保健指導項目情報のXML用データ型を設定。「継続的支援予定期間」は数値(PQ)型であるため、「PQ」を設定する。	1..1	M
11.13.5	@code	「継続的支援予定期間」は数値(PQ)型であるため本属性は出現しない	0	X
11.13.6	@codeSystem	「継続的支援予定期間」は数値(PQ)型であるため本属性は出現しない	0	X

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

11.13.7	text()	「継続的支援予定期間」は数値(PQ)型であるため本値は出現しない	0	X
11.13.2	@valule	数値を設定。	1..1	M
11.13.3	@unit	単位の記述を必要とする場合に出現し、XML 用保健指導項目情報の XML 用単位文字列を設定。 「継続的支援予定期間」では、週をあらわす「wk」を設定。	1..1	M

以上の仕様にもとづき、保健指導計画情報のエントリのサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回①情報セク
シヨン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接①実施情報 -->
      :
    </entry>
    <entry>
      <!-- 保健指導計画情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 継続的支援予定期間 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1021000020"/>
            <value xsi:type="PQ" value="6" unit="wk"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.4 指導初回情報セクション

3.3.4.1 セクション部仕様

指導初回情報セクションは、初回面接を分割実施している場合は「初回面接②実施情報」を報告する際、初回面接を分割実施していない場合は「初回面接実施情報」を報告する際に表現され、内容は表 20 と同一。人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。entry 要素を含む。セクションコードには CDA セクションコードのうち「90030」を指定する。

指導初回情報セクションの XML 仕様はセクションコードおよびセクションコードの表示名を除いて、表 21 と同一仕様。（指導初回情報セクションの場合、セクションコード(表 21 No11.4.1)は「90030」、セクションコードの表示名(表 21 No11.4.3)は「指導初回情報セクション」)

指導初回情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導初回情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 初回面接実施情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 保健指導計画情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```

3.3.4.2 初回面接実施情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリは初回面接実施情報エントリと保健指導計画情報エントリの2つである。動機づけ支援では、初回面接実施情報エントリだけからなる。※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「初回面接情報」（項目コード 1022000090）が付与されている場合があるので、これを削除すること。

初回面接実施情報エントリの XML 仕様は、初回面接の支援形態におけるコード値※を除いて、表 22 と同一仕様。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

※初回面接の支援形態(表 22 No11.9.1)におけるコード値は以下のとおり設定する

- ・初回面接を分割して実施している場合
「1：個別支援」～「5：遠隔面接」のいずれかを設定する
- ・初回面接を分割して実施していない場合
「1：個別支援」「2：グループ支援」「5：遠隔面接」のいずれかを設定する

以上の仕様にもとづき、初回面接実施情報のエントリのサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回情報セクション"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!-- 初回面接の支援形態:1=個別支援 (項目コード:1022000012) -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.18140"/>
        <!-- 初回面接の実施日付 (項目コード:1022000011) -->
        <effectiveTime value="20070720"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!-- 初回面接の実施者のコード:1=医師 (項目コード:1022000015) -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 初回面接の実施時間(項目コード:1022000013) -->
            <code code="1022000013"/>
            <effectiveTime>
              <width value="30" unit="min"/>
            </effectiveTime>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  :
</section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.4.3 保健指導計画情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリの2つめは保健指導計画情報エントリである。このエントリは動機づけ支援以外の場合に出現し、積極的支援の場合には必須である。なお、動機付け支援相当およびモデル実施の場合は、情報を入手した場合のみ出現させる。

保健指導計画情報エントリのXML仕様を表23と同一。

以上の仕様にもとづき、保健指導計画情報のエントリのサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回情報セクシ
    ョン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      :
    </entry>
    <entry>
      <!-- 保健指導計画情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 継続的支援予定期間 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1021000020"/>
            <value xsi:type="PQ" value="6" unit="wk"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```


特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.5 指導集計情報セクション

3.3.5.1 セクション部仕様

- ※ 動機づけ支援では本セクションは出現しない。
 - ※ 積極的支援及びモデル実施では必ず出現する。
 なお、動機づけ支援相当の場合、情報を入手した場合に報告対象となることから本セクションは任意とする
 - ※ 保健指導機関から保険者が受領するファイルの当該セクションのまま加工は不要である。
 - ※ 実施していない形態については、出現させなくても良い。
 - ※ 平成 25 年度より、支援 B の実施が必須では無くなっているため注意のこと。
- 指導集計情報セクションは、計画段階での集計的な情報および実績報告時の集計的な情報をそれぞれ異なるエントリで記述する。
- 積極的支援及びモデル実施では、本セクションが必ず出現し、計画上の集計情報に関するエントリと実施上の集計情報のエントリの 2 つが必ず出現する。
- 各エントリの説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。本セクションコードには CDA セクションコードのうち「90070」を指定する。

表 24 指導集計情報セクションで表現される保健指導の報告項目

entry 名	番号	項目コード	項目名
計画上の 集計情報	1701	1041800117	計画上の継続的な支援の実施回数
	1702	1041101117	同上の実施回数(個別支援 A)
	1703	1041101113	同上の合計実施時間(個別支援 A)
	1704	1041201117	同上の実施回数(個別支援 B)
	1705	1041201113	同上の合計実施時間(個別支援 B)
	1706	1041302117	同上の実施回数(グループ支援)
	1707	1041302113	同上の合計実施時間(グループ支援)
	1708	1041103117	同上の実施回数(電話 A による支援)
	1709	1041103113	同上の合計実施時間(電話 A による支援)
	1710	1041104117	同上の実施回数(e-mailA による支援)
	1711	1041203117	同上の実施回数(電話 B による支援)
	1712	1041203113	同上の合計実施時間(電話 B による支援)
	1713	1041204117	同上の実施回数(e-mailB による支援)
	1714	1041100114	同上のポイント(支援 A)
	1715	1041200114	同上のポイント(支援 B)
	1716	1041800114	同上のポイント(合計)
実施上の 集計情報	1731	1042800117	実施上の継続的な支援の実施回数
	1732	1042101117	同上の実施回数(個別支援 A)
	1733	1042101113	同上の合計実施時間(個別支援 A)
	1734	1042201117	同上の実施回数(個別支援 B)
	1735	1042201113	同上の合計実施時間(個別支援 B)
	1736	1042302117	同上の実施回数(グループ支援)
	1737	1042302113	同上の合計実施時間(グループ支援)
	1738	1042103117	同上の実施回数(電話 A による支援)
	1739	1042103113	同上の合計実施時間(電話 A による支援)
	1740	1042104117	同上の実施回数(e-mailA による支援)

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

1741	1042203117	同上の実施回数(電話 B による支援)
1742	1042203113	同上の合計実施時間(電話 B による支援)
1743	1042204117	同上の実施回数(e-mailB による支援)
1744	1042100114	同上のポイント(支援 A)
1745	1042200114	同上のポイント(支援 B)
1746	1042800114	同上のポイント(合計)
1747	1042800118	禁煙指導の実施回数
1748	1042000022	実施上の継続的な支援の終了日

指導共通情報セクションの XML 仕様を表 25 に示す。

表 25 指導集計情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
11.4	code	CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90070」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導集計情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry[1]	計画段階の集計情報を格納する entry	1..1	M
11.7(繰り返し)	entry[2]	実施上の集計情報を格納する entry	1..1	M

指導集計情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導集計情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 計画上の集計情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 実施上の集計情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.5.2 計画上の集計情報エントリおよび実施上の集計情報エントリの仕様

計画上の集計情報エントリと実施上の（実施済みの）集計情報エントリの両方を格納する。両者の基本構造は同一であり、異なる点は1）格納すべき報告項目が表 24 のように2項目多いこと、2）計画と実施のエントリの区別が表 26 のXML仕様 No.11.8.2 で示される moodCode、および同表XML仕様 No.11.14.2 で示される moodCode が、計画上の集計情報の場合には計画を意味する「INT」であるのに対して、実施上の集計情報の場合には結果を意味する「EVN」となることにより記述されることである。

以下の説明ではこのエントリに格納される報告項目の種類に対応して格納の仕方が変わることがあるため、必要に応じて別に提供されるXML用保健指導項目情報を参照すること。

集計情報エントリのXML仕様を表 26 に示す（行 No は再掲）。

表 26 集計情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		2..2	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、 計画上の集計情報の場合には計画を示す「INT」を設定。 実施上の集計情報の場合には結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	アクトブロック	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記につづいて、集計情報に関する報告項目（表 24）について下記の表 26-1（行 No は再掲）の act/entryRelationship の繰り返しで記述する。

なお表 26-1 において赤字で記載するように、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に <http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/info02a.html> から提供されるXML用保健指導項目情報を参照する必要がある。

表 26-1 集計情報エントリのXML仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	保健指導情報項目の1項目分のブロック情報	1..18	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、 計画上の集計情報の場合には計画を示す「INT」を設定。 実施上の集計情報の場合には結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導情報項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	XML 用保健指導項目情報の XML 用データ型を設定。 回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」 支援の終了日は、文字列型「ST」とする。	1..1	M
11.13.5	@code	属性が出現しない	0	X
11.13.6	@codeSystem	属性が出現しない	0	X
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、 XML 用保健指導項目情報の XML 用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

以上の仕様にもとづき、集計情報エントリの XML サンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導集計情報セクシ
    ヨン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 計画段階の集計情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <!--act/codeを設定-->
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数 5回 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041800117"/>
            <value xsi:type="INT" value="5"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数（個別支援A） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041101117"/>
            <value xsi:type="INT" value="1"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の合計実施時間（個別支援A） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041101113"/>
            <value xsi:type="PQ" value="10" unit="min"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数（個別支援B） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041201117"/>
            <value xsi:type="INT" value="1"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の合計実施時間（個別支援B） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041201113"/>
            <value xsi:type="PQ" value="10" unit="min"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      :
    </act>
  </entry>
  :
  次ページのサンプルに続く
  
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

前記サンプルに続く、実施結果の集計情報セクションのサンプルの抜粋は以下のとおりである。実施上の継続的な支援の終了日も他のデータ項目と同様にvalue要素で記述する。

```

:
<entry>
  <!-- 実施上の集計情報 -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <code nullFlavor="NA" />
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 実施上の継続的な支援の実施回数 7回 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042800117" />
        <value xsi:type="INT" value="7" />
      </observation>
    </entryRelationship>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 実施上の継続的な支援の実施回数（個別支援A） 1回 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042101117" />
        <value xsi:type="INT" value="1" />
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
  :
  <entryRelationship typeCode="COMP">
    <!-- 禁煙の指導回数 1回 -->
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="1042800118" />
      <value xsi:type="INT" value="1" />
    </observation>
  </entryRelationship>
  <entryRelationship typeCode="COMP">
    <!-- 実施上の継続的な支援の終了日 -->
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="1042000022" />
      <value xsi:type="ST">20080120</value>
    </observation>
  </entryRelationship>
</entry>
</section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.6 最終評価情報セクション

3.3.6.1 セクション部仕様

※本仕様では中間評価情報セクションは存在しない。

※保健指導機関から保険者が受領するファイルの当該セクションのまま加工は不要である。

最終評価情報セクションは、ある時点である実施形態により、3ヵ月後の評価を実施（または実施しようとした）情報を格納するものであり、ひとつのエントリで構成される。

ひとつのエントリには表 27 の項目情報が表現される。

本セクション内の人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。セクションコードには CDA セクションコードのうち、最終評価情報セクション

「90060」を指定する。

表 27 最終評価情報セクションで表現される保健指導項目

entry 名	番号	項目コード	項目名
最終(3ヶ月)評価情報	1601	使用しない	3 か月後の評価の実施日付
	1602	使用しない	3 か月後の評価の支援形態又は確認方法
	1603	使用しない	3 か月後の評価の実施者
	1604	1042000116	3 か月後の評価ができない場合の確認回数
	1605	1042001031	3 か月後の評価時の腹囲
	1606	1042001032	3 か月後の評価時の体重
	1607	1042001033	3 か月後の評価時の収縮期血圧
	1608	1042001034	3 か月後の評価時の拡張期血圧
	1609	1042001042	3 か月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(栄養・食生活)
	1610	1042001041	3 か月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(身体活動)
	1611	1042001043	3 か月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(喫煙)

最終評価情報セクションの XML 仕様を表 28 に示す。

表 28 最終評価情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
11.4	code	最終評価情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	最終評価情報セクションでは「90060」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「最終評価情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry	最終評価情報を格納する entry	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

最終評価情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90060" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="最終評価情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 最終評価の記述-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```

3.3.6.2 最終評価情報エントリ仕様

最終評価情報セクションに含まれるエントリは最終評価情報エントリの1個だけである。最終評価情報エントリのXML仕様を表29（XML仕様NOは一部再掲）に示す。
 ※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「実績評価情報」（項目コード1042001090）が付与されている場合があるので、これを削除すること。

表 29 最終評価情報エントリの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	最終評価情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	3ヶ月後の評価の支援形態または確認方法	1..1	M
11.9.1	@code	表 27 の項目番号 1602 を格納する。 「1: 個別支援、2: グループ支援、3: 電話、4: 電子メール支援」のいずれかひとつのコード値を設定。	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	OID「1.2.392.200119.6.3005」を設定する。	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	3ヶ月後の評価実施日付情報	1..1	M
11.14.1	@value	3ヶ月後の評価実施日の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	3ヶ月後の評価の実施者に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	3ヶ月後の評価の実施者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	表 27 の項目番号 1603 を格納する。 3ヶ月後の評価の実施者のコード 「1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他」のいずれかひとつのコード値を設定。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

11.16.3	code/@codeSystem	3ヶ月後の評価の実施者のコードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.19	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	評価実施機関情報	0..1	O
11.19.1	id/@extension	実施機関番号	1..1	M
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
11.19.4	name/text()	実施機関の名称	1..1	M

上記につづいて、3ヶ月後の評価情報に関する報告項目（表27）のうち番号1604～1611の8項目について下記の表29-1（行Noは再掲）のact/entryRelationshipの繰り返しにより記述する。表27のうち番号1601～1603の3項目については、表29の各要素等により格納されている。また、表27のうち番号1607, 1608, 1611の3項目は情報を入力した場合には格納することとなっている。

なお表29-1において赤字で記載するように、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/info02a.html>から提供されるXML用保健指導項目情報を参照する必要がある。

表 29-1 評価情報エントリのXML仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	評価情報項目の1項目分のブロック情報	5..8	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	XML用保健指導項目情報のXML用データ型を設定。回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、報告すべきコード値を設定。その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、コード表のOID。XML用保健指導項目情報のOIDを設定。その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、XML 用保健指導項目情報の XML 用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0

以上の仕様にもとづき、最終評価情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

```

<component>
  <section>
    <code code="90060" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="最終評価情報セクション"/>
    <text />
    <!--最終評価-->
    <entry>
      <!-- 最終評価実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!-- 3ヶ月後の評価の支援形態 -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3004"/>
        <!-- 3ヶ月後の評価の実施日付：2007年10月20日 -->
        <effectiveTime value="20071020"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!-- 3ヶ月後の評価の実施者(項目コード:1032000015) -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 3ヶ月後の評価時の腹囲 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001031"/>
            <value xsi:type="PQ" value="80.0" unit="cm"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 3ヶ月後の評価時の体重 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001032"/>
            <value xsi:type="PQ" value="77.0" unit="kg"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        :
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 3ヶ月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善-->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001041"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3010"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        :
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.7 指導機関情報セクション

3.3.7.1 セクション部仕様

※ 保健指導を委託している場合、保健指導情報ファイル中の指導初回①情報セクション、指導初回情報セクション、継続支援情報セクション、中間評価セクション、最終評価セクションから保険者側で生成する。

※ 保険者直営実施の場合においても必ず存在する。

表 30 保健指導情報ファイルに出現する保健指導区分と各セクションの関係

セクション(セクションコード)	動機づけ支援	積極的支援	動機付け支援相当	モデル実施
指導初回①情報セクション(90020)	初回面接を分割実施した場合、必須	初回面接を分割実施した場合、必須	初回面接を分割実施した場合、必須	初回面接を分割実施した場合、必須
指導初回情報セクション(90030)	必須	必須	必須	必須
継続支援情報セクション(90040)	任意	必須	任意	任意
中間評価セクション(90050)	任意	任意	任意	任意
最終評価セクション(90060)	出現する	出現する	出現する	出現する

指導機関情報セクションでは、初回面接（初回面接①、初回面接②含む）、中間評価、支援Aまたは支援B、実績評価を実施した特定保健指導機関（直営の場合を含む）に関する情報、支援形態（主対応内容）、実施内容を、ひとつの実施機関について一つの指導機関情報エントリで記述する。

実施内容が支援Aまたは支援Bの場合において、ひとつの実施機関が、複数の異なる支援形態（1：個別支援、2：グループ支援、3：電話、4：電子メール支援）を実施した場合は、この支援形態コードが最も小さい（若い）支援形態を主たる支援形態として採用することとし、その他の支援形態は格納しない。

たとえば、指導機関Aが1：個別支援、2：グループ支援の両方を実施した場合には、実施機関は「指導機関A」、支援形態（主対応内容）は「1：個別支援」とみなして記述する。異なる複数の機関により継続的な支援（中間評価を実施した継続的な支援を含む）が実施された場合には、異なる指導機関の数だけ委託先情報エントリが繰り返される。

平成30年度以降、繰り返しの最大回数に制限を設けないこととし、実施した機関数分の情報を出力する。

ひとつの指導機関情報エントリには表31の項目情報が表現される。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

本セクション内の人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。セクションコードには CDA セクションコードのうち「90080」を指定する。

表 31 指導機関情報セクションで表現される保健指導項目

entry 名	項目表番号	項目名
指導機関情報	1811	保健指導機関番号
	1812	保健指導機関名
	1813	主対応内容
	1814	実施内容

指導機関情報セクションの XML 仕様を表 32 に示す。

表 32 指導機関情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
11.4	code	指導機関情報 CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90080」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「委託先情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry[1..]	実施情報を格納する指導機関情報エントリ	1..*	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

指導機関情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90080" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導機関情報セクション"/>
  <text />

  <!--指導機関情報の記述 -->
  <entry>
    ...
  </entry>
  : くりかえし
  <!--指導機関情報の記述 -->
  <entry>
    ...
  </entry>
  : くりかえし
</section>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

3.3.7.2 指導機関情報エントリ仕様

指導機関情報セクションに含まれる指導機関情報エントリは、異なる実施機関と実施内容の組み合わせごとに1個出現する。同一の実施機関と実施内容の組み合わせで指導機関情報エントリが複数出現してはならない。

同エントリのXML仕様を表33（XML仕様NOは一部再掲）に示す。

表33 指導機関情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		0..*	O
11.8	act	保健指導機関での実施情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	支援形態	1..2	M
11.9.1	@code	支援形態のコード値 1: 個別支援、2: グループ支援、3: 電話、4: 電子メール支援、5: 遠隔面接 ※保健指導機関から受領するファイル中のコードとは異なるので注意すること。	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	対応内容区分のOID 1.2.392.200119.6.3006 ※保健指導機関から受領するファイル中のコードとは異なるので注意すること。	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	支援の実施日 要素が出現しない	0	X
11.15	act/performer	支援を実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	支援実施者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	属性が出現しない	0	X
11.16.3	code/@codeSystem	属性が出現しない	0	X
11.19	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	指導機関情報	1..1	M
11.19.1	id/@extension	実施機関番号 実施機関番号がない場合には 属性 extension は出現しない。	0..1	O
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」 実施機関番号がない場合には 属性 root は出現しない。	0..1	O
11.19.3	id/@nullFlavor	実施機関番号がない場合にのみ 属性 nullFlavor が出現し、属性値として「NI」を設定。「NA」ではない。	0..1	O
11.19.4	name/text()	指導実施機関の名称	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	指導機関情報項目の1項目分のブロック情報(実施内容を設定)	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	XML 用保健指導項目情報の XML 用データ型を設定。 回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、報告すべきコード値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、コード表のOID。XML 用保健指導項目情報のOIDを設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合出現し、XML 用保健指導項目情報の XML 用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

以上の仕様にもとづき、指導機関情報エントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

```

<entry>
  <!-- 指導機関情報（指導機関 1） -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <!-- 主対応内容コード：グループ支援-->
    <code code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.3006"/>    <performer>
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <representedOrganization>
          <!-- 指導機関番号 -->
          <id extension="1122334455" root="1.2.392.200119.6.102"/>
          <!-- 指導機関名称 -->
          <name>東京保健指導センターA</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>    <!-- 実施内容：初回面接（分割実施以外） -->
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042000086"/>
        <value code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.18150" xsi:type="CD"/>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
</entry>
<entry>
  <!-- 指導機関情報（指導機関 2） -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <!-- 主対応内容コード：電話-->
    <code code="3" codeSystem="1.2.392.200119.6.3006"/>    <performer>
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <representedOrganization>
          <!-- 指導機関番号はない -->
          <id nullFlavor="NI"/>
          <!-- 指導機関名称 -->
          <name>神宮保健指導センター B</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>    <!-- 実施内容：実績評価-->
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042000086"/>
        <value code="6" codeSystem="1.2.392.200119.6.18150" xsi:type="CD"/>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
</entry>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

4. OID 表

本文書中で記載されている各種コードのコード体系コード（OID）は、別表 OID 一覧表を参照すること。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

本説明文書は、H18年度厚生労働科学研究費補助金・循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業（生活習慣病）：疾病予防サービスの制度に関する研究班の分担研究班「健診データの整備に関する検討（分担研究者：大江和彦）」により作成されました。

また本説明文書が対象としている特定健診データの標準的電子データ規格は、上記の厚生労働科学研究班のメンバーのほか、下記の厚生労働省「標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会/健診分科会/電子的管理WG（座長：大江和彦）」、保健医療福祉情報システム工業会、日本HL7協会有志、およびここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会/健診分科会/電子的管理WG

大江和彦 東京大学大学院医学系研究科
 奥 真也 東京大学医学部
 窪寺 健 (株)NTTデータ
 小林祐一 HOYAグループ総括産業医
 酒巻哲夫 群馬大学医学部
 松田晋哉 産業医科大学
 吉田勝美 聖マリアンナ医科大学
 渡辺清明 国際医療福祉大学

保健医療福祉情報システム工業会・HL7協会

大島 義光 (株)日立製作所
 大林 正晴 (株)管理工学研究所
 香川 正幸 富士通(株)
 小西 由貴範 (株)ケーアイエス
 田中 教子 (株)ケーアイエス
 平井 正明 日本光電工業(株)
 橋本 大輔 (株)テクノロジックアート
 村上 英 東芝住電医療情報システムズ(株)

その他大学関係等

新田見 有紀 東京大学医学部附属病院
 星本 弘之 東京大学医学部附属病院
 山本 隆一 東京大学大学院情報学環

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 3
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2017.03.31

Ver2

本説明文書は、厚生労働省保険局総務課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、下記、「第二期における特定健診・保健指導の円滑な実施に向けたシステム改修に係る特定健康診査・特定保健指導情報ファイル仕様説明書の修正作業班」のメンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

特定健康診査・特定保健指導情報ファイル仕様説明書の修正作業班

Ver3

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課データヘルス・医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「保険者による健診・保健指導等に関する検討会」の下に設置された「実務担当者による特定健診・特定保健指導に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

実務担当者による特定健診・特定保健指導に関するワーキンググループ作業班